

平成 22 年度 第 I 期養成課程のeラーニング 実施要項

1. 目的

このeラーニングは、財団法人テクノエイド協会（以下、「協会」という。）が行う認定補聴器技能者養成事業において、将来「認定補聴器技能者」の資格を取得するために必要な第1段階の知識を習得することを目的とする。

2. 受講資格

学校教育法（昭和 22 年法律第二十六号）第九十条第 1 項に規定する大学入学資格以上の学歴を有する者

（高等学校または中等教育学校を卒業した者。補聴器販売店に勤務していなくても可。）

3. 受講条件

- (1) 自宅又は職場等でインターネット接続可能なパソコンがあること。
- (2) 一般的なパソコンの操作ができること。
- (3) 受講者個人用のメールアドレスを所持していること。

< eラーニング推奨環境 >

- ①OS : Microsoft Windows XP SP3 以降
- ②CPU : インテル Pentium4 2.33GHz 以上
- ③メモリ : Microsoft Windows XP 1GB 以上、Microsoft Windows Vista/7 2GB 以上
- ④解像度 : 1024×768pixel 以上
- ⑤ブラウザ : Internet Explorer 7.0 以上
- ⑥Flash : Adobe Flash Player 10.0 以上
- ⑦Reader : Adobe Reader 9.0 以上
- ⑧接続回線 : ブロードバンド環境（ケーブルテレビ、ADSL、光ファイバー等）

※利用する環境の動作確認ができるよう準備しています。

4. 履修課目（別紙参照）

講義編 20 課目 40 時限、実技編 3 課目 6 時限（1 時限＝45 分）

5. 履修期間（予定）

平成 22 年 9 月 1 日（水）～11 月 30 日（火）

※eラーニング制作中のため、変更となる場合があります。

6. 申込方法

平成 22 年 6 月 1 日（火）から 7 月 15 日（木）までに協会ホームページより申込してください。

7. 受講料及び納付方法

(1) 受講料 20,000 円

※インターネット通信料（回線料）は、受講料には含まれません。

(2) 納付方法 銀行振込または郵便振替

①銀行振込

みずほ銀行 飯田橋支店（0001-061）

普通預金 2330468 ザイ）テクノエイドキョウカイ

②郵便振替

00150-1-67769 ザイ）テクノエイドキョウカイ

（注）受講者本人の個人名でお振込ください。手数料はご負担願います。

なお、会社名での振込や、複数人を一括して振込する場合は必ずご連絡ください。

8. 受講申請後の取消

平成 22 年 7 月 30 日（金）までにご連絡ください。以後、納付された受講料は原則返還いたしません。

9. 受講決定と受講票等の送付

(1) 受講決定者には 8 月中旬、e ラーニング学習マニュアル（ユーザー ID、パスワード添付）等を送付します。

(2) 受講が認められない方についてはその旨連絡し、受講料を返還いたします。

10. 個人情報の取扱いについて

受講に際しての個人情報は、認定補聴器技能者養成事業に係わるご連絡、受付名簿作成等に利用いたします。これらの個人情報は、協会が適切に管理し、本人の了承なく第三者に提供することはありません。

11. 問い合わせ先

財団法人テクノエイド協会 試験研修部

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 4 階

TEL:03-3266-6882 FAX:03-3266-6885 E-mail:shiken@techno-aids.or.jp

認定補聴器技能者養成カリキュラム

第 I 期養成課程の e ラーニング

	講座名	履修時限数		内容
		講義編	実技編	
1	補聴器販売 I	2		補聴器販売の心構え、販売の流れ、販売時に確認すべき内容、使用方法の説明、データ記録の方法
2	補聴器販売 II	2		補聴器のメンテナンス、顧客データの管理、補聴器販売店の実務
3	補聴器販売 III	2		補聴器の選択。フィッティング方式（規定選択法など）の種類、補聴器の利得、出力の設定の考え方
4	補聴器販売 IV	2		聴力別のフィッティング。オープンフィッティングの注意点。高度難聴者への対応
5	市場概論	2		補聴器販売の歴史、市場統計、販売倫理、関係団体、医療との連携
6	職業倫理 I	2		補聴器販売に関わる法規。薬事法、特商法などの説明と法令遵守の必要性。医療との連携、注意点
7	聴覚生理、難聴病理 I	2		耳の構造と難聴。医療と連携する中で補聴器販売の禁忌 8 項目の医学的な意味
8	聴覚生理、難聴病理 II	2		難聴病理、両耳機能など
9	補聴器音響学 I	2		音の性質、音の物理的な特性、大きさ・強さ・高さ、ベントの加工と音の変化
10	補聴器音響学 II	2		音圧・聴力レベルについて、増幅ときこえ
11	補聴器の種類と構造	2		補聴器の種類・その特徴、増幅方式、電池の種類・その特徴
12	補聴器の機能	2		騒音制御、指向性、その他補聴器の機能
13	補聴器の周辺機器・関連機器	2		FM など補聴器の周辺機器や日常生活用具など関連機器
14	補聴器の特性測定	2	2	補聴器の特性の意義。測定と特性の見方
15	補聴器フィッティングのための聴力測定 I	2	2	聴力測定の準備、測定方法、気導・骨導測定とマスクング簡易法、注意点
16	補聴器フィッティングのための聴力測定 II	2		語音聴力測定、その他の測定、マスクング
17	イヤモールドとシェル・耳型採取	2	2	イヤモールドの目的・種類、耳型採取の流れと注意点
18	音声学の基礎知識	2		発声の成り立ちとその認識、音素・単語・構文・言語的冗長度・抑揚・韻律・アクセント・などの役割
19	高齢者・難聴者の心理とリハビリテーション	2		高齢者・難聴者の心理とリハビリテーション。相談対応方法
20	聴覚障害者福祉と支援方法	2		聴覚障害児・者の福祉制度、難聴者を取り巻く社会情勢の理解と支援の実践、他機関との連携
e ラーニング計		40	6	

※1時限＝45分

(注) 現在制作中につき、一部変更する場合があります。